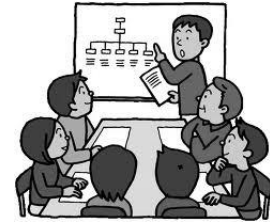


● 第2回 鉾ヶ崎地区復興まちづくり検討会

資料 2

◆ 開催概要

日時：12月6日(火) 18:30~21:10  
 場所：市役所6階大ホール 出席者：検討会メンバー20名



検討にあたっての情報提供

■ 地区復興まちづくり便りへの意見等について

皆様からお寄せいただいた復興まちづくりに関するご意見やご提言をお知らせし、検討を進めました。

■ 浸水深と建物被害の関係について

宮古市の建物被害は、浸水深 2m前後で被災状況に大きな差があり、2m以下の場合では建物が全壊となる割合が大幅に低下しています。

■ 防潮堤がない場合のシミュレーションについて

最悪のケースを想定し、防潮堤が破壊された時でも人命を確実に守れるようにするため、避難計画は防潮堤がない場合のシミュレーション結果をもとに検討を進めました。

■ 防潮堤の位置について

第1回検討会で防潮堤の位置を検討するには水産加工業者等の意向を把握すべきとの意見をうけ、宮古漁協を含み3回の意見交換を行いました。加工場等は防潮堤の内側にしたい、岸壁は水揚げや運搬スペースとして幅30m程度ほしい、幹線道路と港湾の道路は分けてほしいなどの意向をご報告しました。また、この意向に即して防潮堤や幹線道路の配置案をお示しし、検討を進めました。

■ 高台住宅地の造成イメージについて

高台住宅地の候補として佐原地区での造成イメージ図をお示しし、検討を進めました。

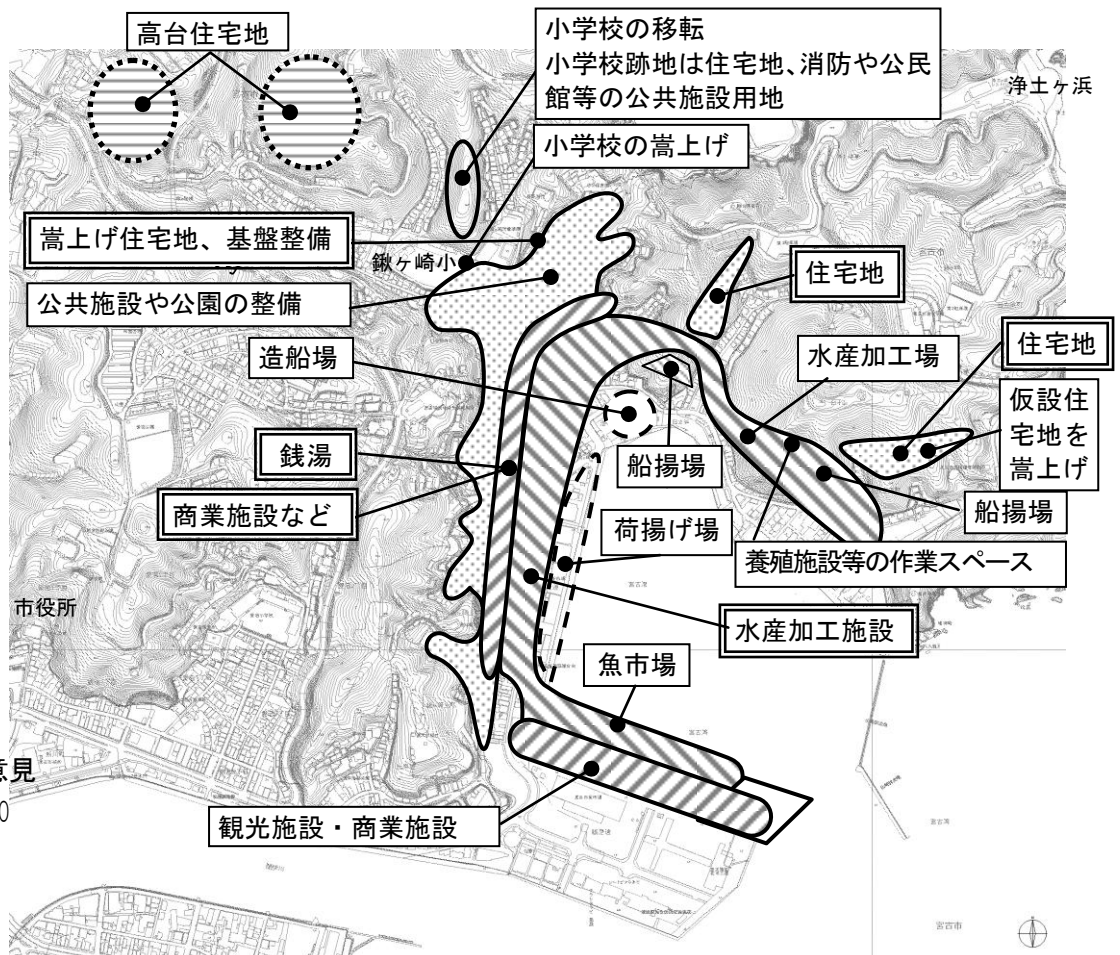
■ ミニモノレール等の整備について

第1回検討会でご提案いただきましたミニモノレールに関しては、建設コストや事業採算性の問題、軌道敷地の確保の問題など解決すべき事項が多いため、復興まちづくりと併せて実現することは難しいと説明しました。

住宅・産業等の土地利用の方針について出た主な意見

第1回に引き続き3班に分かれて検討した結果、右図に示すように意見の共有が図られました。

- 湾岸部に水産加工業等を集約。
- 幹線道路沿道はサービス・商業ゾーン。
- 背後は嵩上げ住宅地や公共施設用地。

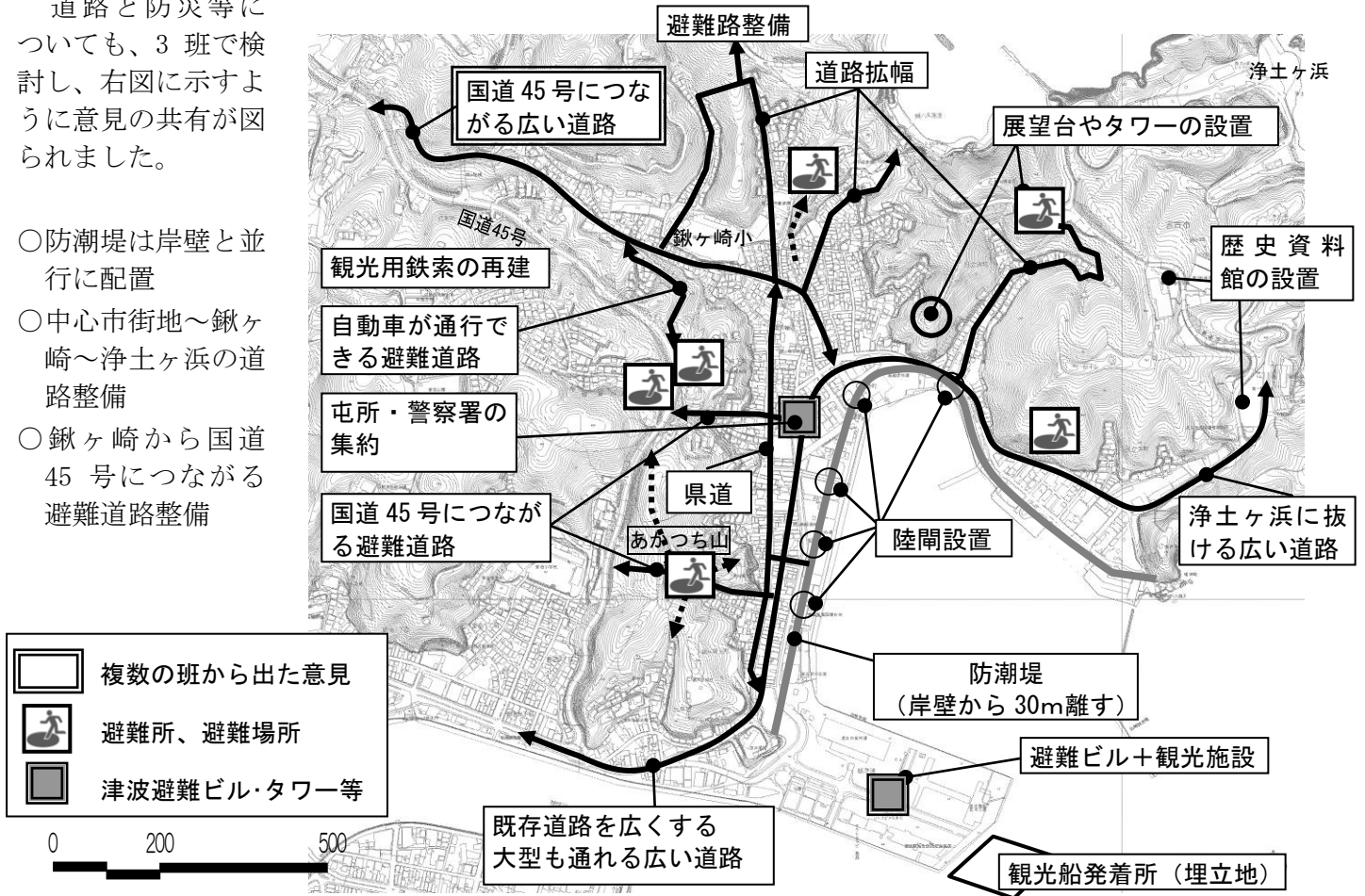


☐ 複数の班から出た意見  
 0 200 500

## 道路、防災等の方針について出た主な意見

道路と防災等についても、3 班で検討し、右図に示すように意見の共有が図られました。

- 防潮堤は岸壁と並行に配置
- 中心市街地～鉾ヶ崎～浄土ヶ浜の道路整備
- 鉾ヶ崎から国道 45 号につながる避難道路整備



## 今回の検討会で共有できた方針

### ①土地利用の方針

既存住宅地	道路、公園、水路等を一体的に整備した嵩上げ住宅地。
幹線道路沿い	漁港利用者や浄土ヶ浜等の観光客へのサービス・商業ゾーン。
幹線道路と防潮堤の間	水産加工場等の産業ゾーン。
防潮堤の堤外地	出崎：魚市場の拡張、観光施設の整備。 港町：造船場や船揚場の再建。 日立浜：船揚場や養殖施設等の作業スペースの整備。
鉾ヶ崎小学校	既存小学校の北側背後地を造成して移転。 既存小学校の嵩上げ。

### ②道路、防災等の方針

防潮堤の整備	岸壁から約 30m 離れた位置での防潮堤整備。
幹線道路の整備	中心市街地～鉾ヶ崎～浄土ヶ浜への観光バスなどの大型車が通行できる道路の整備。
県道の整備	幹線道路と並行に走り国道 45 号へつながる既存住宅地の骨格を形成する道路の整備。
避難路・避難道路の整備	港湾から国道 45 号につながる道路の整備。 既存市街地から蛸の浜へ抜ける道路の整備。 熊野神社、あかつち山、浄土ヶ浜第 3 駐車場へつながる避難路の整備。 鉾ヶ崎小学校から浄土ヶ浜道路へつながる避難路の整備。
避難ビル・タワーの整備	出崎に魚市場や観光施設と兼用の津波避難ビルの整備。 公共施設兼用の津波避難ビルの整備。